

|                |   |           |                                  |       |                    |
|----------------|---|-----------|----------------------------------|-------|--------------------|
| 学校<br>教育<br>目標 | 『学び合い 認め合い 支え合い 笑顔あふれる榎町中』  |           |                                  |       |                    |
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な価値観を生かし、学び合うことのできる生徒を育てます。(知・公・徳・開)</li> <li>・豊かなかかわり合いをもち、社会を創り出すことのできる生徒を育てます。(徳・公)</li> <li>・社会の基本的なモラルを身につけ、自立を目指すことのできる生徒を育てます。(知・徳・体)</li> </ul> |           |                                  |       |                    |
| 学校<br>概要       | 創立 53 周年  | 学校長 吉田 昌史 | 副校長 今井 隆志                        | 3 学期制 | 一般学級: 29 個別支援学級: 8 |
|                | 児童生徒数: 1081 人   |           | 主な関係校: 師岡小学校、大曽根小学校、綱島東小学校、綱島小学校 |       |                    |

|  |                                    |   |
|--|------------------------------------|---|
| 教育課程全体で<br>育成を目指す資質・能力   | 榎町中<br>ブロック                        | 小中一貫教育推進ブロックにおける<br>育成を目指す資質・能力を踏まえた<br>「9年間で育てる子ども像」と具体的取組   |
| <p>&lt;創造力&gt;土台となるチャレンジ精神</p> <p>&lt;コミュニケーション能力&gt; 豊かな人間関係の形成、対話的活動の推進</p> <p>&lt;健やかな心身を育む力&gt; 健康で安全な生活習慣、自己管理能力の育成</p> | <p>師岡小学校<br/>大曽根小学校<br/>綱島東小学校</p> | <p>○共に学び合い、自他を大切に認め合う子ども</p> <p>・バランスのとれたコミュニケーション能力の育成をめざした授業の推進と実践</p> <p>・だれもがわかる、参加できる授業作りの推進</p> <p>・児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を実施</p> <p>・ブロック教務主任会で、授業・行事・児童会生徒会活動、部活動の交流の設定</p> |

|                |  |
|----------------|--|
| 中期<br>取組<br>目標 | <p>○全教職員で活力と魅力のある学校作りをめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい授業を展開し、基礎学力の定着を目指す授業を行い、子どもが主体的に取り組む指導に展開します。</li> <li>・一人ひとりの生徒が成就感・自立(律)感を味わえる学校行事を工夫し、問題解決を進める中で、自己有用感を育てます。</li> <li>・挨拶を大切に、ものごとの善悪を正しく判断する心を育てます。</li> <li>・地域社会との連携を活発化し、地域とのつながりを深め、地域の一員として貢献できる力を育てます。</li> <li>・人と人とのつながりを通して、バランスのとれたコミュニケーション能力を育てます。</li> </ul> |
|----------------|--|

| 重点取組分野   | 具体的取組   |
|--|---|
| <p><b>知</b> 授業改善</p> <p>担当 学習指導部</p>                       | <p>①生徒が主体的に参加できる、わかりやすい授業を行う。②対話的活動を取り入れ、バランスの取れたコミュニケーション能力の育成を図る。③学力状況調査等を利用し、具体的に身に付けたい力、伸ばしたい力を明確にして学力を伸ばす授業づくりに活かす。生徒による授業評価と結びつける。</p>        |
| <p><b>徳</b> 支え合う風土</p> <p>担当 特活指導部</p>                     | <p>特別活動の三領域(学級活動・生徒会活動・学校行事)を通して、人と人との関わりを大切にし個性を尊重し合いながら新しい生活の中で可能な教育活動を推進する。また、その活動を通して地域の方々と関わりながら、豊かな人間関係の形成を図る。</p>                            |
| <p><b>体</b> 健康教育</p> <p>担当 保健指導部</p>                       | <p>性指導や薬物乱用指導、食教育が3年間の系統立てた指導となるように科教科、学年と関連させて検討していく。保健委員会活動では健康課題を主体的な活動に展開できるよう指導する。</p>   |
| <p><b>公<br/>開</b> 自分づくり教育<br/>(キャリア教育)</p> <p>担当 学習指導部</p> | <p>1年では職業に向けての学習、職業講話の実施、2年では新たに職場体験に変わる教育を計画し実施することで、自分の将来について理解を深めるようにする。3年では、幅広く自分の将来を切り拓いていく学習を通して、生き方についても考える機会とする。</p>                        |
| <p><b>いじめへの対応</b></p> <p>担当 いじめ防止対策委員会</p>                 | <p>いじめの早期発見・解決のために、生活アンケートや相談活動の一層の充実を図る。いじめ防止対策委員会を定期的に、また、必要に応じて臨時に開催し、事案一つひとつに対処する。</p>  |
| <p><b>人材育成・<br/>組織運営(働き方)</b></p> <p>担当 研修部・教育課程委員会</p>    | <p>経験の浅い教職員を中心とした授業研究を行い、教職員全体の研究・研修を通して教師力の向上を行う。風通しの良い職場環境作りと働き方改革を進め、組織力を高め、持続可能な行事・部活動を含めた生徒活動の検討を行う。</p>                                       |
| <p><b>特別支援教育</b></p> <p>担当 特別支援部</p>                       | <p>委員会の定期開催と内容充実を図り、要支援生徒一人ひとりの教職員の共通理解を深め、個の特性に応じた指導を行う。特別支援教室の活用をさらに進め、機関との連携を積極的に行い、研修を通じ、個に応じた指導を推進する。個別の支援計画の充実を図る。</p>                        |
| <p><b>生徒指導</b></p> <p>担当 生徒指導部</p>                         | <p>人権教育と特別支援教育を土台とした生徒指導研修を充実させ、年3回の教育相談やいじめアンケートなどを中心に、相談活動を柱にした生徒理解に基づく生徒一人ひとりの内面にも寄り添った生徒指導に、教職員全体で組織的に取り組む。新たな生徒指導の意識としくみの定着を目指した研修の充実。</p>     |
| <p><b>GIGAスクール構想</b></p> <p>担当 情報管理部</p>                   | <p>持ち帰りを推進するchromebook運用ルールについて各部署と連携を密に図りながら運用しやすく改善していきたい。特別支援教室でのリモート授業などができるように支援していきたい。ICT支援員と連携し、教育課程全体で生徒用端末の活用について推進を図れるように各部署の支援をしていく。</p> |
| <p><b>人権教育の推進</b></p> <p>担当 学習指導部</p>                      | <p>人権教育推進計画の改善、定着を目指した教職員研修の充実。教育活動の根幹となる人権意識の向上。全学年を対象とした人権作文の取組を通して、生徒一人ひとりの人権に対する意識・関心を深め、人権を尊重し、差別を許さない心・態度を育成する。</p>                           |